



一般特集
星座と神話

星空を眺めながら、神話世界の扉を開けてみませんか？



詩・ことば ~空~

晴れ渡った日の青い空
雨の日の曇り空
朝の空、昼の空、夜の空
どのような空が好きですか？



新刊案内

【一般図書】

『ニッポンの塔』橋爪紳也／著 河出書房新社

大阪城天守閣、東京タワー、東京スカイツリー、太陽の塔、六本木ヒルズ森タワー……。天に向けてそびえたつ塔（タワー）には私たちが魅了する不思議な力があります。物見の塔、公共の塔、電波の塔、都市の塔など7つの視点からタワーの変遷を辿り、人と塔と都市の関係性に着目した都市建築史。

『江戸前の環境学』川辺みどり・河野博／編 東京大学出版会

江戸前の海「東京湾」は、本来は豊かな海です。豊穡の海から、開発の海へ、そして癒しの海へと変化してきた歴史や自然誌を学び、これからも海の恵みを享受してゆくための方法を探る本。海開きの夏、東京湾について考えてみませんか？

【ティーンズ図書】

『31 青春のこゝろ 2012「SEITO 百人一首」の世界』同志社大学／編 NHK出版

短歌コンクール「SEITO 百人一首」に寄せられた高校生の作品は、どれも瑞々しい感性が光っています。思わずはっとさせられる短歌に出会える一冊です。

【児童図書】

『サイエンス・クエスト科学の冒険』アイリック・ニュート／著 NHK出版

世界には答えの出ていない謎がたくさん！サイエンスジャーナリストとともに未知の世界に挑む、科学の入門書。

『おぼえる！学べる！たのしいことわざ』北村 孝一／監修 高橋書店

短い言葉の中に、人の心を動かす力やなるほど！と思える知恵がかくれていることわざ。ちょっとむずかしそう？

この本では、おぼえておけばきっと役に立つことわざを楽しいイラストとともに紹介しています。

（『おぼえる！学べる！たのしい四字熟語』青山由紀／監修 もあります）

読書の窓 7月に読みたい本
手紙を書きたくなる本

最近、誰かに手紙を書きましたか？メールは毎日しても、手書きの手紙はなかなか書かないという方が多いのではないのでしょうか。7月23日は「ふみの日」です。旧暦で7月は文月（ふみづき）、23日は「ふみ」の語呂合わせにちなんでいるそうです。そこで今月は手紙にまつわる6冊をご紹介します。自分宛でない手紙を読むことも、読書だからできるのですよね。読めばあなたも手紙を書きたくなるかもしれません。

『文豪・名文家に習う手紙の書き方』

中川越／著 同文書院

文豪夏目漱石や芥川龍之介、プロレスラーの力道山、軍人山本五十六など、作家以外にもあらゆる名文家たちが送る手紙で、彼らの感性に触れることができます。また、この本に登場する文豪の作品に触れたことがある方は、本当にこの作家が書いたのかと思わせるような新しい一面も発見できます。年賀状やお礼の手紙、恋文など、いつもとは少し違った味わい深い手紙を書きたい方の参考書にもなる一冊です。

『心をつなぐ タヤけ「絵手紙」』

東京中央郵便局／編 学生社

絵手紙は、絵ではなく、相手を思って、感じた事や思った事を伝える手紙です。まずは、小さな感動を心に書きとめます。そして、切手を貼り、相手の住所を書き、感じた事を絵や文字で表現し相手に伝えます。この本のテーマは「タヤけ」。世界の国々から届いたタヤけ絵手紙が載っています。添えられたエピソードを読むと、書いた人の感動と喜びが心に沁み渡ってくるような気がします。心に残る温かなコミュニケーション、絵手紙の魅力が詰まった本です。



『切手帖とピンセット』

加藤郁美／著 国書刊行会

切手には肖像や国章、動植物や風景など様々な図案があります。デザイナーと彫版師の名前が記された北欧の切手、アフリカの鉱物・化石切手、社会主義圏の宇宙切手、東欧のこども切手、クリスマスや新年を祝う切手など、1960年代の切手1154枚をフルカラーで掲載。切手の解説、各国の文化、発行の歴史などのコラムも充実しており、美しいデザインに目を奪われるだけでなく、切手蒐集の楽しみがさらにひろがります。

『拝啓、モーツァルト様』

Bunkamura／編 学生社

渋谷のBunkamuraが開館五周年を迎えた1994年、「モーツァルトへの手紙」を公募しました。一篇400字以内の短い手紙の中に、老若男女様々な人たちのモーツァルトへの想いが綴られています。モーツァルトの音楽に支えられたり、生活の一部だったり、素敵な思い出・悲しい思い出を重ねたり…。私たちの人生には限りがありますが、彼の音楽は永遠に、人々の人生と共にあるようです。

『あしながおじさん』ウェブスター／作 ポプラ社

『続 あしながおじさん』J. ウェブスター／作 新潮文庫

孤児院育ちのジュディが見知らぬ「あしながおじさん」の援助を受けて大学に通うという有名なお話。ジュディがあしながおじさんに宛てたいきいきとした手紙で構成されています。昔読んだ方も、読んだ事のない方も是非手に取ってみてください。何度読んでも楽しい気持ちになる作品です。そして続編をご存知でしょうか？ジュディの大学の友人サリーが奮闘するお話で、サリーがジュディへ綴った手紙です。